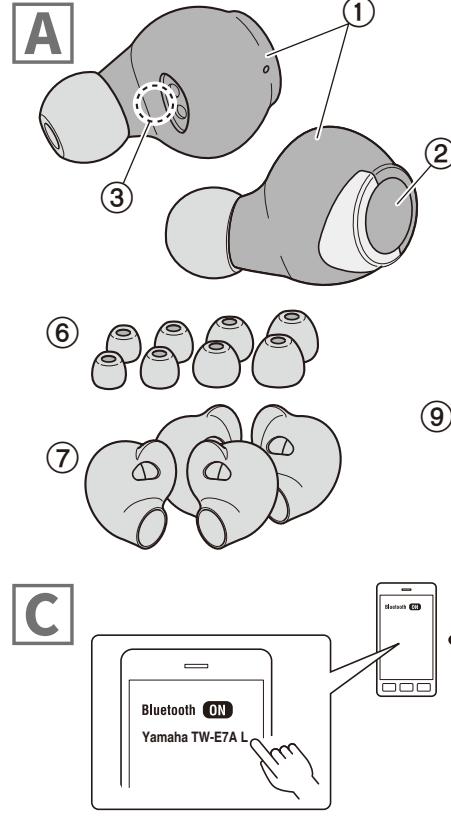




TW-E7A

完全ワイヤレスイヤホン

ユーザーガイド（基本編）



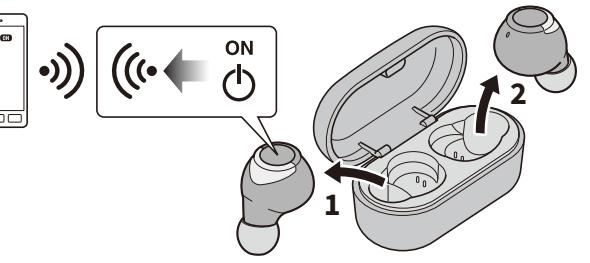
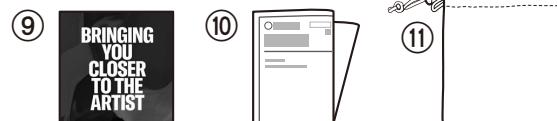
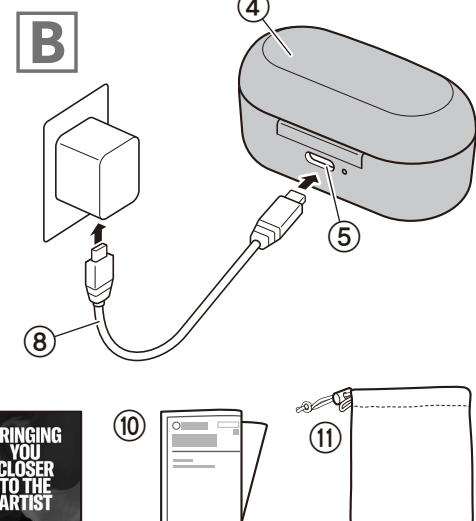
詳しい使い方については
Web サイトをご覧ください。

<https://manual.yamaha.com/av/19/twe7a/>

Manual Development Group

© 2020 Yamaha Corporation

2020 年 10 月 発行 AMOD-B0



はじめに

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書に記載された「安全上の注意」を必ずお読みください。
- ・お読みになったあとは、保証書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

A 製品、付属品、各部の名称

① イヤホン (L, R)
*マイクが内蔵されています。

② 機能キー

③ インジケーター

④ 充電ケース

⑤ 充電用端子

⑥ イヤピース (SS, S, M, L, LL) 各 1 セット
*M サイズのイヤピースは装着されています。

⑦ スリーブ (S, M, L) 各 1 セット
*S サイズのスリーブは装着されています。

⑧ USB 給電ケーブル

⑨ スタートアップガイド

⑩ ユーザーガイド（基本編）/ 安全上の注意
(本書)

⑪ キヤリングケース

準備

B 充電する

付属の USB 給電ケーブルで充電ケースの充電用端子と市販の USB 電源アダプター (DC 5V / 0.5A 以上 対応) の USB 端子に接続し、充電ケースとイヤホンを充電します。

- ・充電中はインジケーターがオレンジ色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
- ・充電は約 2 時間で完了します (USB 充電時)。1 回の充電で約 5 時間 (ANC 使用時の連続再生) ができます。
- ・Qi (チー) 規格のワイヤレス充電器 (市販の) で充電ができます。詳細はヤマハウェブサイトをご覧ください。

C Bluetooth® 接続する

本機を初めて使う場合は、接続する Bluetooth 機器同士を認識させる操作（ペアリング）をします。一度ペアリングをすれば、次回からは電源を入れると自動的に Bluetooth 機器に接続します。

■ペアリングする

1. 充電ケースからイヤホン (L) を取り出す。
・イヤホン (L) のインジケーターが青と赤で交互に点滅してペアリング待ち受け状態になります。
2. 充電ケースからイヤホン (R) を取り出す。
3. 接続する Bluetooth 機器を操作して、Bluetooth 設定画面を表示する。
4. 表示画面から『Yamaha TW-E7A L』を選択する。

無線出力	Class 1
最大通信距離	約 10 m (妨害の無い時)
登録可能機器数	最大 3 台
内蔵充電池	リチウムイオン電池
充電時間 (USB 充電時)	イヤホン: 約 2 時間 充電ケース: 約 2 時間
連続再生時間	約 5 時間 (ANC 使用時)
充電ケースによる本体充電回数	約 3 回
充電温度	0 ~ 40 °C

安全上の注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を分けて掲載しています。

記号表示について

この機器や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

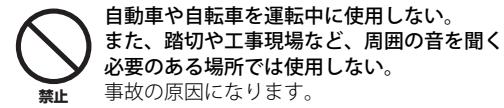


- ・点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- ・不適切な使用や改造によりお客様がけがをしたり機器が故障したりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- ・本製品は一般家庭向けの製品です。生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される用途に使用しないでください。



「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

使用時の注意

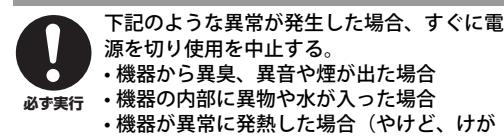


自動車や自転車を運転中に使用しない。

また、踏切や工事現場など、周囲の音を聞く必要のある場所では使用しない。

事故の原因になります。

異常に気づいたら



下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り使用を中止する。

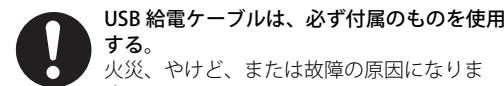
- ・機器から異臭、異音や煙が出た場合
- ・機器の内部に異物や水が入った場合
- ・機器が異常に発熱した場合（やけど、けがの恐れ）

・機器に亀裂、破損がある場合

・機器を落とした場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

充電



USB 給電ケーブルは、必ず付属のものを使用する。

火災、やけど、または故障の原因になります。

必ず実行

充電ケースを充電するときは、市販の USB 電源アダプター (DC 5V / 0.5A 以上 対応) の USB 端子に接続する。

誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。

充電については、ユーザーガイド本編を参照してください。

本製品を充電するとき、使用する市販の USB AC アダプターは見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。

指定された充電温度内で充電する。

範囲外の温度での充電は、液漏れ、発熱、破裂、故障の原因になります。

イヤホンは付属の充電ケースで充電する。

付属の充電ケース以外の充電器での充電は、液漏れ、発熱、破裂、故障の原因になります。

付属の USB 給電ケーブルをほかの機器に使用しない。

火災、やけど、または故障の原因になります。

必ず実行 充電中、使用中は毛布や衣類などを本機にかぶせない。

発熱や発火の原因になります。

この機器が濡れている状態では絶対に充電しない。感電や電子回路のショートなどによる火災や故障の原因になります。

USB 給電ケーブルが破損するようことをしない。

- ・ストーブなどの熱器具に近づけない
- ・無理に曲げたり、加工しない
- ・傷つけない
- ・重いものをのせない

芯線がむき出しのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

分解禁止

この機器を分解したり改造したりしない。火災、感電、けが、または故障の原因になります。



必ず実行

